

◎ 災害時ストーリー編 ～避難ガイドブックの役立て方～



「準備編」と「身近な避難経路づくり編」を読んで、災害が起きたとき、どのように行動したら良いのか考えてみましょう。
 避難ガイドブックの役立て方を、ストーリー仕立てで解説します。

■シーン①「地震発生、行き止まり道路から避難」

1. 地震で古いブロック塀が倒壊して道が塞がれてしまい、避難できない！

2. 慌てず、事前に整備した木戸から庭先を通して、広い道路へ抜けることができた！

■シーン②「逃げ遅れた人がいないか、近隣の人たちと確認」

3. 逃げ遅れる人がいないか、心配・・・

4. 近隣の人たちと声をかけ合って、確認しておいた避難所へ！

注：火災発生時など、避難しながらの救助活動が難しい場合もあります。

■シーン③「緊急一時避難所に到着し、安否確認」

5. 近隣の人たちがきちんと避難できているか、避難所で確認！

6. 近隣の皆が避難できた！塀や家が倒壊して通れない道もあったが、身近な避難経路が使われ、日頃の準備が役に立った！

身近な避難経路づくりや、日頃の準備が役に立ったね！

平成28年1月【作成・発行】川岸地区まちづくり推進協議会
 【編集協力】(株)マヌ都市建築研究所
 【ガイドブックに関する問い合わせ先】
 戸田市役所都市整備部まちづくり推進室 TEL048-441-1800

行き止まり道路 避難ガイドブック



■ガイドブックの目的と内容

目的： 行き止まり道路からの避難経路を確保し、災害時に慌てず避難できるようにします。

内容： ガイドブックは、「準備編」・「身近な避難経路づくり編」・「災害時ストーリー編」の構成となっています。「準備編」・「身近な避難経路づくり編」では災害への備えについて、「災害時ストーリー編」では災害が起こったときの行動について解説します。

■行き止まり道路とは

どんなところが「行き止まり道路」？

例えば、下図のような、袋小路の路地です。

ブロック塀や建物が倒壊すると、避難できなくなるおそれが！

どうすれば解消できるの？

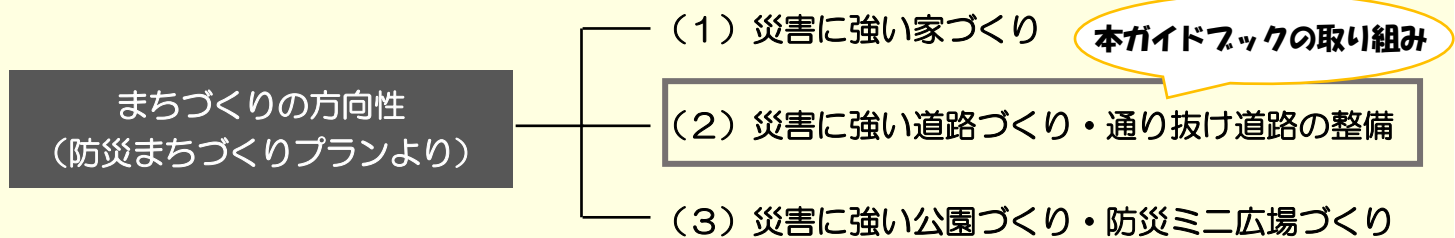
まずは、身近な取り組みから考えてみましょう！

2ページの「準備編」と3ページの「身近な避難経路づくり編」で調べてみましょう！4ページの「災害時ストーリー編」も参考にしてください！

■検討経緯 ～防災まちづくりプランと行き止まり道路～

＜川岸地区まちづくり推進協議会による、防災まちづくりの提案＞

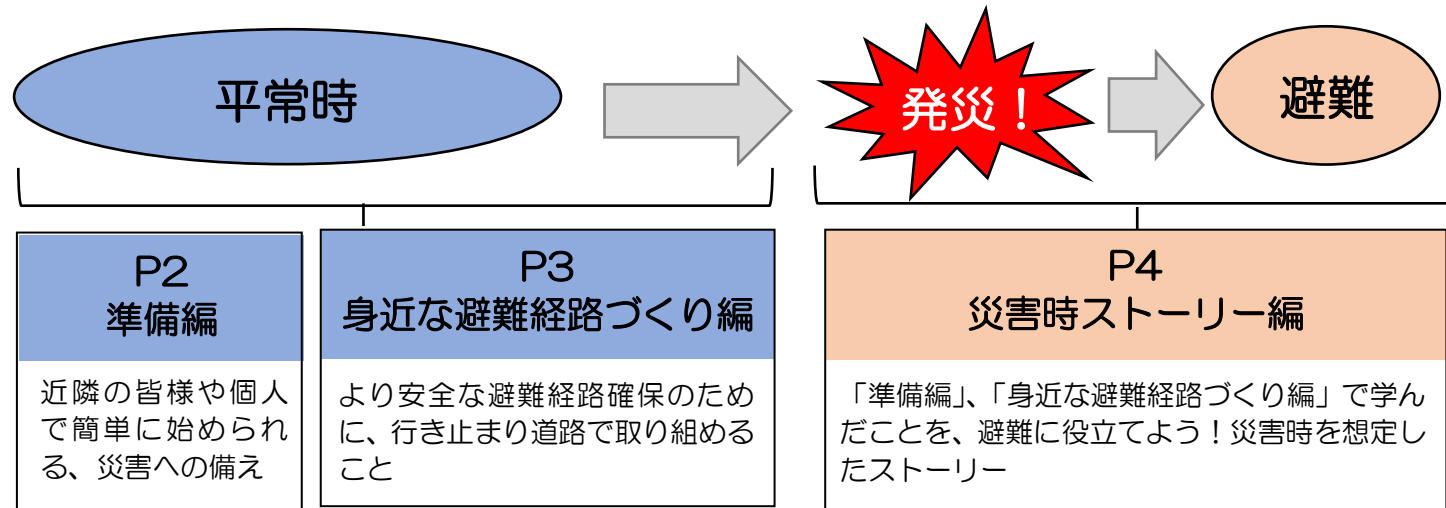
協議会では、平成19年度に「防災まちづくり推進計画」を、平成20年度に「防災まちづくりプラン」を市長に提出しました。それらにおいて、行き止まり道路は課題として挙げられています。「防災まちづくりプラン」では、まちづくりの方向性の一つに「災害に強い道路づくり・通り抜け道路の整備」を掲げ、行き止まり道路の解消について述べています。これらの課題を解決するために、行き止まり道路に関する検討を市との協働で進めてきました。



このガイドブックの活用方法

■ ガイドブックで調べよう

「準備編」、「身近な避難経路づくり編」で災害が起きる前に考えたいことを調べましょう。
「災害時ストーリー編」では、平常時の備えが災害時にどのように役立つか、ご説明します。



◎ 準備編 ～災害時の避難のために、すぐに始められること～



災害時に備え、こういった準備や心構えが必要なのでしょうか。
「近隣の皆様でできること」、「個人でできること」を解説します。

近隣の皆様でできること

① 災害時にどこを通過して逃げるか、確認しておこう！

- 安全に避難できるルートを、家族や近隣の人たちと確認しておきましょう。建物のすきまなど、意外な避難経路が見つかるかもしれません。



② 緊急一時避難所を確認しておこう！

- 家族や近隣の人たちと一緒に、避難直後に集まる場所（緊急一時避難所）を確認しておきましょう。



個人でできること

③ 庭や隣の家との間は、避難路として使えるよう、キレイにしておこう！

- 普段は通らない庭や建物間のすきまも、災害時には避難経路となる可能性があります。大きな物を置かないようにし、きれいにしておきましょう。



◎ 身近な避難経路づくり編 ～より安全な避難に向けた取り組み方～



避難経路をしっかりと確保するために、どのような方法が考えられるのでしょうか。
行き止まり道路周辺にお住まいの皆様に、2つの取り組み方をご紹介します。

ご自宅の庭を、あと一步で避難経路にできそうな方へ

① 木戸を設置して、緊急時に庭を通れるようにする

- 塀などでふさがっているところに木戸などを設け、緊急時に開けられるようにすると、万が一の時に庭先から避難できます。

【緊急時に開けられる木戸などの例】



木戸を開ければ、庭を通過して避難できるように！



蹴破れるようになっている。「非常口」の表示つき！



ステップを設けて、段差にも対応！

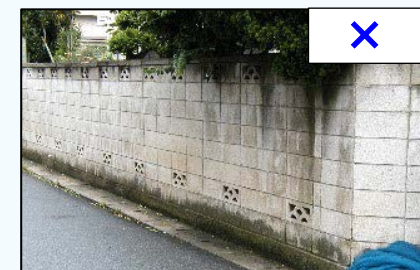
古いブロック塀の取り替えを検討されている方へ

② ブロック塀を生垣に変える（高さを低くする）

- 塀を新しくする際に、ブロック塀でなく生垣にすると、塀の倒壊がなくなります。もしくは、ブロック塀の高さをできるだけ低く抑えることで、塀の倒壊を防ぎ、避難経路を守ります。



高いブロック塀よりも、低い塀や生垣、柵などの方が安全



高いブロック塀が倒壊すると、道をふさいでしまう危険が！



下部は低いブロック塀。上部は生垣に！



低い柵やフェンスにするのも有効！